

奈良県立医科大学附属病院長候補者推薦理由書

1. 選考資料

病院長選考委員会は、吉川公彦氏から提出された「履歴書」、「主な実績」、「所信表明書」及び5名の推薦者による「推薦書」並びに面談でのプレゼンテーション及び質疑応答並びに「奈良県立医科大学附属病院長選考基準」を選考資料として病院長選考を進めた。

2. 病院長選考基準に照らしての評価

基準1「人格が高潔であること」について、既に4年にわたって病院長を務め、真摯な態度で職責を果たし特に批判を受けるような事項がなかったことに鑑みて、基準に合致していると評価する。

基準2「臨床研修等修了医師であること」について、履歴書に記載のとおり、基準に合致している。

基準3「医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有していること」について、医療安全管理責任者経験を有し、現在の任期中に医療安全を担当する組織を強化した実績に加え、医療安全に関するガバナンス強化と文化の醸成に向けた施策の展開について、具体的な対策を示しており、医療安全のさらなる向上を期待できることから基準に合致していると評価する。

基準4「人との信頼関係を重視し、社会規範、コンプライアンスを遵守できること」について、現病院長として、職員との積極的な対話により良好な関係を構築し、病院長として一定の評価を得ていることから基準に合致していると評価できる。

基準5「奈良県立医科大学附属病院の理念を実現するための熱意、戦略、実行力があり、将来ビジョンを有すること」について、本学附属病院が奈良県民を守る最終ディフェンスラインとしての役割を理解し、現在の任期中に「24時間365日のER」を運用するなどの実績、並びに今後の地域医療体制の整備に向けたビジョンを持つことから基準に合致していると評価できる。

基準6「組織管理能力等の当院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有していること」について、現病院長として副院長やプロジェクトリーダー等との綿密な情報・意見交換による組織の意思決定、チームの合意形成、目標と成果の管理を実践していること、及び未曾有の新型コロナウイルス対策にあたるなどその職責を十分果たしていることから基準に合致していると評価できる。

基準7「法人の運営について、他の役員と一致団結して、公立大学法人奈良県立医科大学の発展に貢献できること」について、現病院長として附属病院の運営を行うとともに、中期計画目標の達成に向けて活動を行っていることから基準に合致していると評価できる。

基準8「医療従事者の新しい働き方についてリーダーシップを発揮できること」について、働き方改革推進のためのプロジェクトを立ち上げ具体的な取り組みに着手しており、更なるリーダーシップの発揮

を期待できることから基準に合致していると評価できる。

基準9「臨床研究を推進するための戦略と実行力を有すること」について、病院長として臨床研究の推進に努めてきており、今後も一層の体制整備の推進を期待できることから基準に合致していると評価できる。

3. 結論

吉川公彦氏を次期奈良県立医科大学附属病院長候補者として、理事長に推薦する。

4. 選考経緯

令和5年12月 6日 選考委員会の設置

12月18日 第1回選考委員会 開催

選考基準案の作成

選考基準の策定、公表、公募開始

12月25日 選考基準の公表、公募開始

令和6年 1月15日 公募締切

1月24日 第2回選考委員会 開催

選考対象者との面談、質疑応答、候補者の決定